

## 尾張北支部

## 施設見学会

尾張北支部（金田英治支部長）は、10月23日（火）「平成30年度施設見学会および人材育成研修会」を開催し、支部会員15名が参加しました。

午前は加山興業（株）豊川リサイクルプラント（豊川市南千両2丁目1）にて、工場見学及び代表取締役の加山順一郎氏から人材育成について講義がありました。

同社は工場や建設現場から出る廃プラスチック類、木くずや事業系一般廃棄物、病院から出る医療系廃棄物などに対応しており、他にも環境ソリューション事業（建物解体、養蜂業他）にも注力しています。

加山氏からは会社の沿革、家業を継いだ経緯、世代交代にあたり加山昌弘会長から継承されたこと、環境ソリューション企業としての方向性、人材育成についてお話しがありました。

講義の中で「人材募集について、以前は広告や人伝で募集を行っていましたが、この数年はWebを活用した募集告知や、合同企業説明会に参加し毎年新入社員を迎えています。魅力ある企業としてのアピールは、企業活動が盛んになればこの業界は益々活性化し、各社の仕事量は増加していきます。堅実な会社運営を行うことにより、公務員と同等の安定した職業である、と企業説明会で応募される方に説明をします。現在、小学校で出前授業を行い環境学習の活動に注力し、弊社の壁には中学生が環境・リサイクルをイメージして描いた作品があります。

実はこの経験をした子が社会人となり、平成31年4月に弊社へ入社予定という喜ばしいサプライズ



となりました。このように地道とも思われる活動を継続していくことが、産廃業界の地位向上へとつながり、魅力ある業界へと発展するところに人が集まるのではないかと考えます。」と述べました。

午後はアルメック（株）（大府市北崎町遠山143番地）にて、新卒採用を中心とした取組について、代表取締役の星河秀樹氏から講義がありました。

同社は創業以来工場などで発生した金属製品、樹脂、コンクリートを回収、品種ごとに加工し再生する資源リサイクル事業を展開し、循環型社会の実現に向けて貢献しています。

星河氏は「経営品質の4本柱として『社員重視』『顧客本位』『社会との調和』『独自能力』を重視し、健康経営、安全衛生等様々な仕組みを取り入れた結果、社員・顧客共に満足度が高まってきました。経営理念『資源に無限の夢を』、そして社員全員の物心両面の充足と幸せを実現するため、取組を続けていきます。」と述べました。

次に新卒入社第1期生（入社10年目）の山田真広氏・野々口慎氏、第6期生の三輪知聡氏からプレゼンがあり、山田氏から会社概要、三輪氏から採用実績を始め採用全般について、野々口氏からは人財定着のための様々な取組（社内木鶏クラブ、社員総会、絆を深める社内イベント等。採用して終わりではなく、その後の社員教育が重要。）について解説がありました。その後工場見学を行い、担当者から各設備について説明を受けて見学を終えました。

各社それぞれの取組について参考になる点が多く、実り多き施設見学会となりました。

